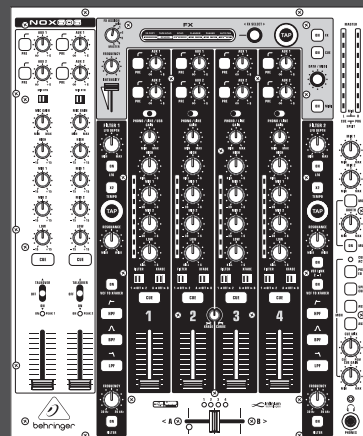
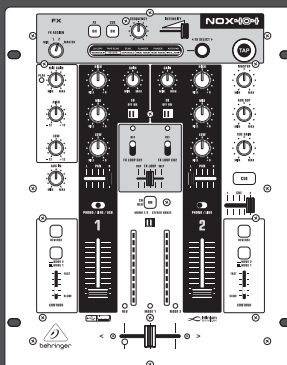
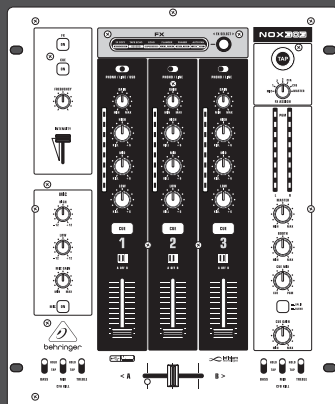
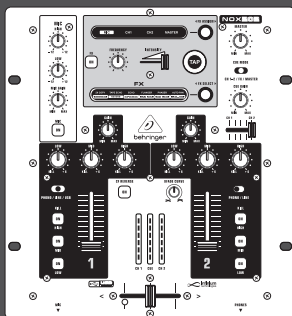


クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



PRO MIXER NOX1010/NOX606/NOX404/ NOX303/NOX202

Premium 6, 5, 3 and 2-Channel DJ Mixer with
Infinium "Contact-Free" VCA Crossfader, Beat-Syncable FX,
VCFs (NOX606) and USB/Audio Interface

安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついていますが、これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのも

のです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ベックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146,
Road Town, Tortola, British Virgin Islands

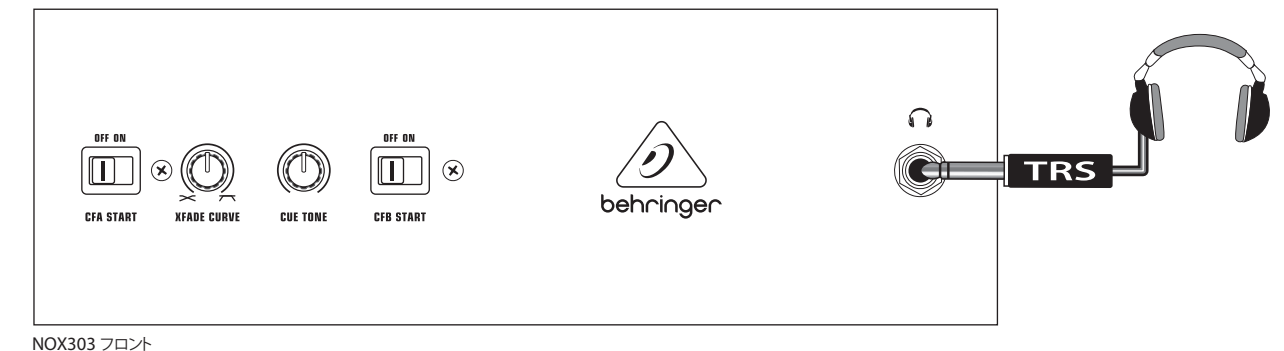
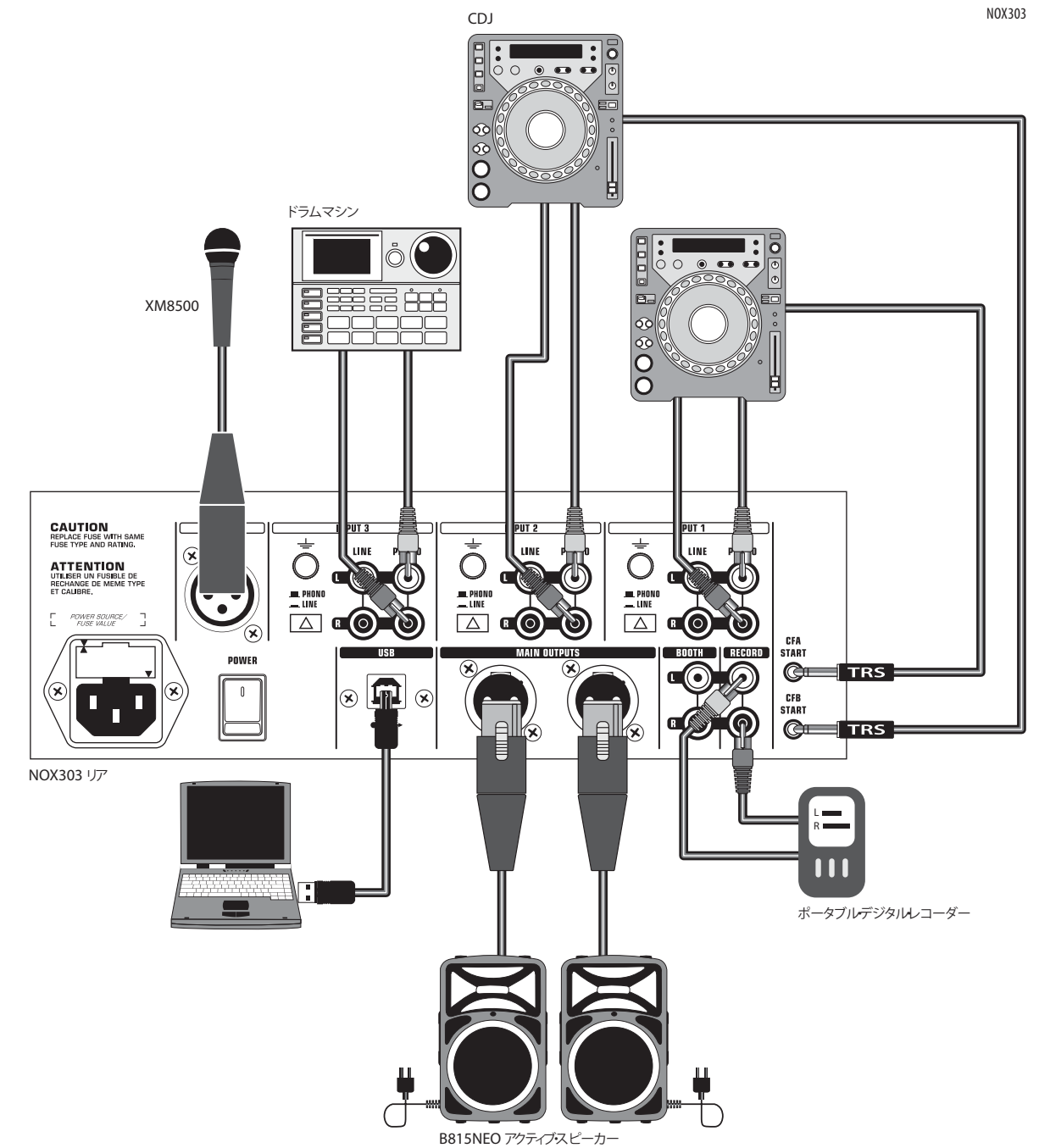
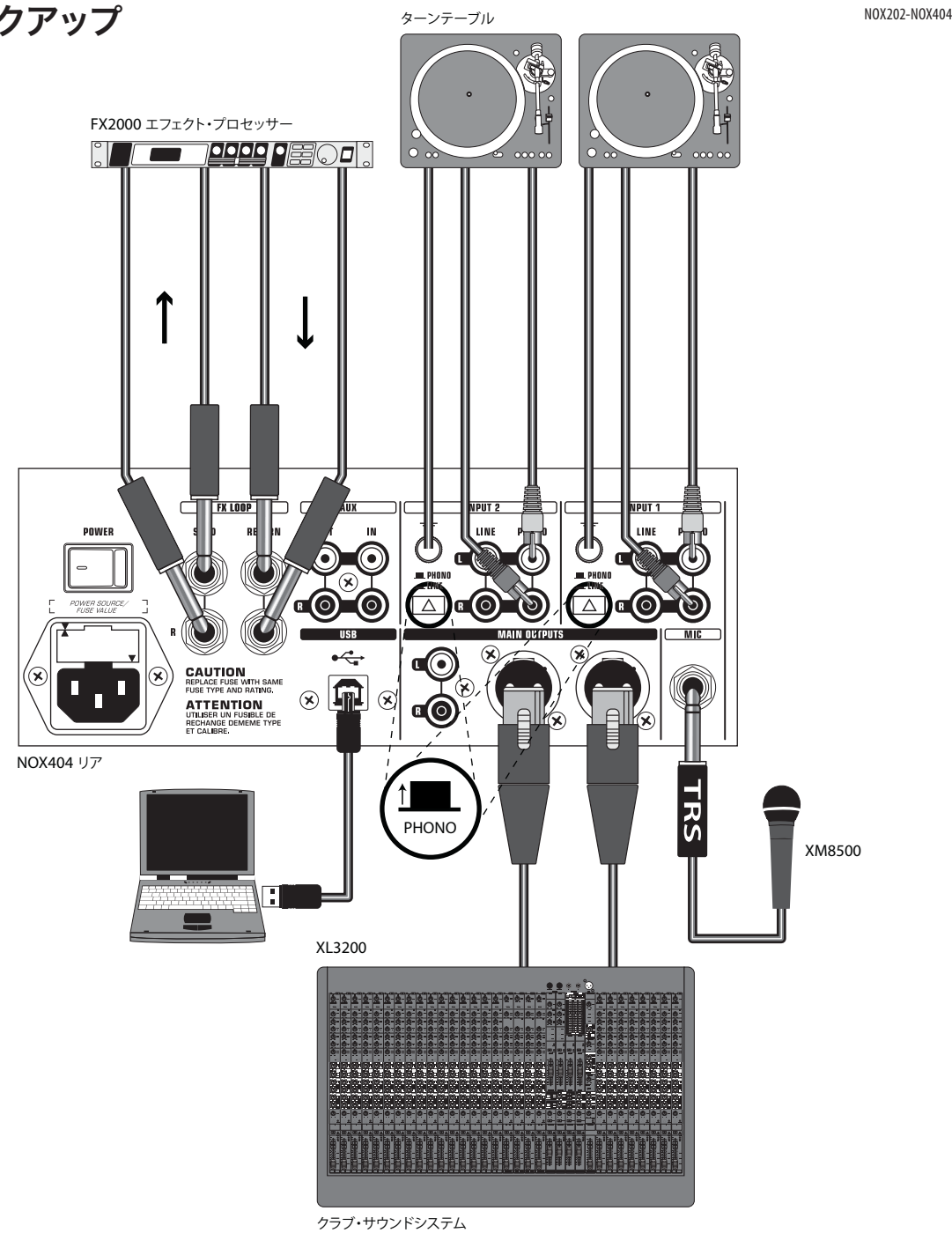
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

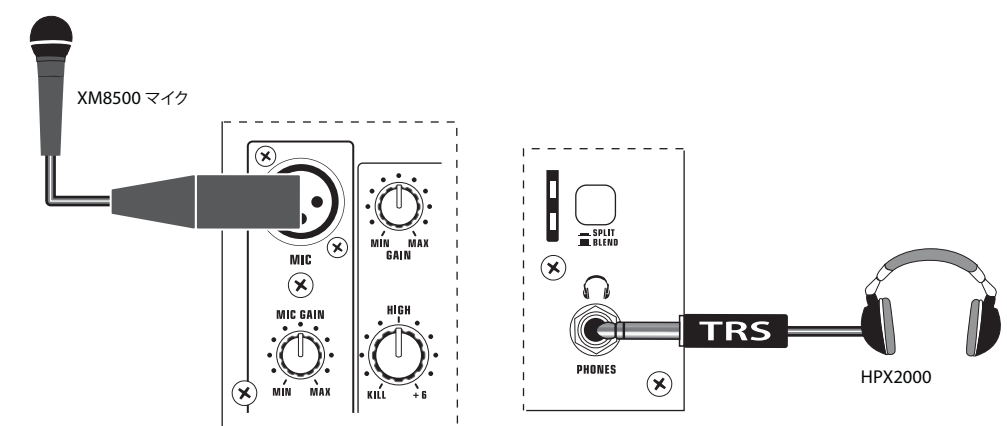
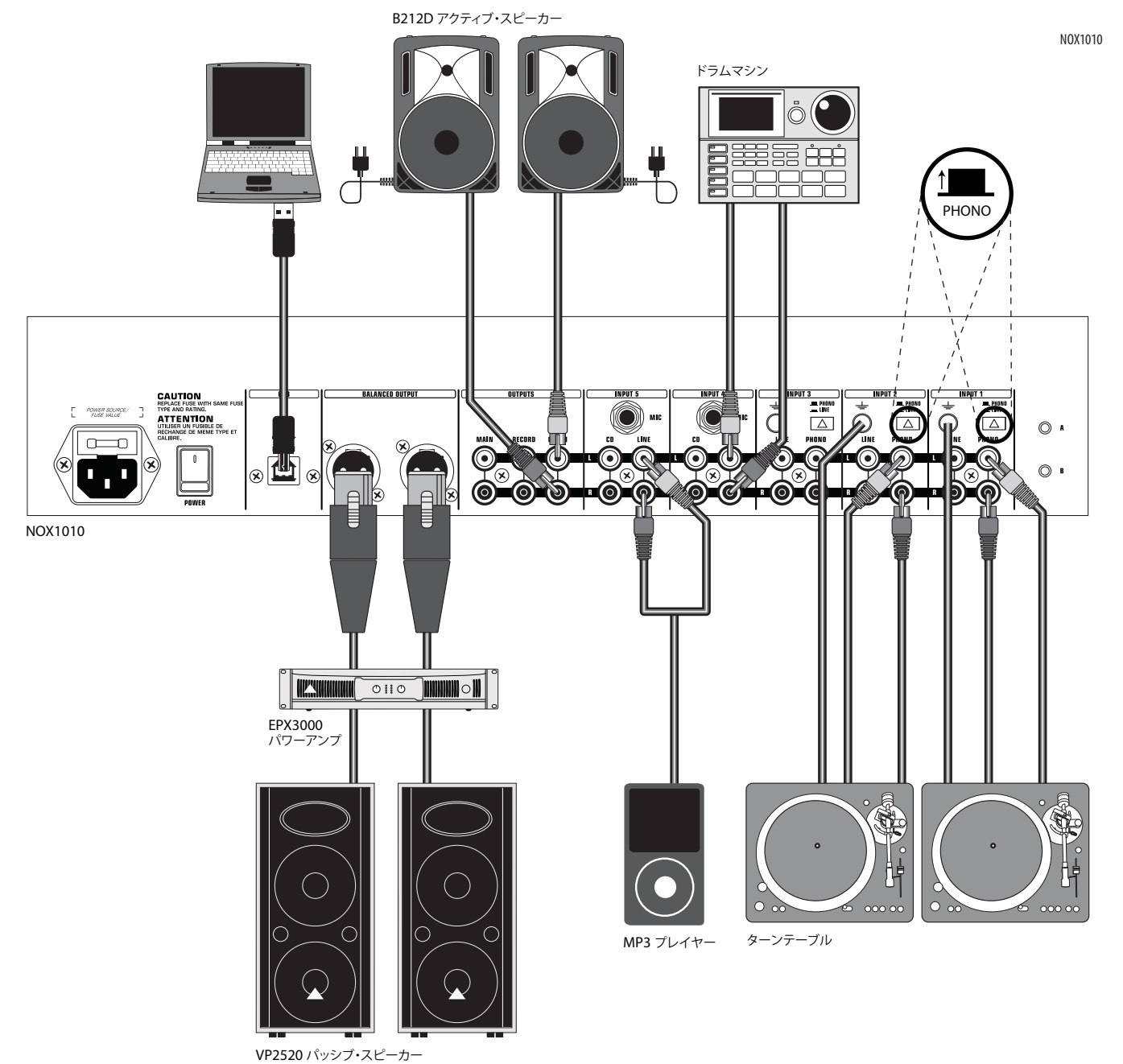
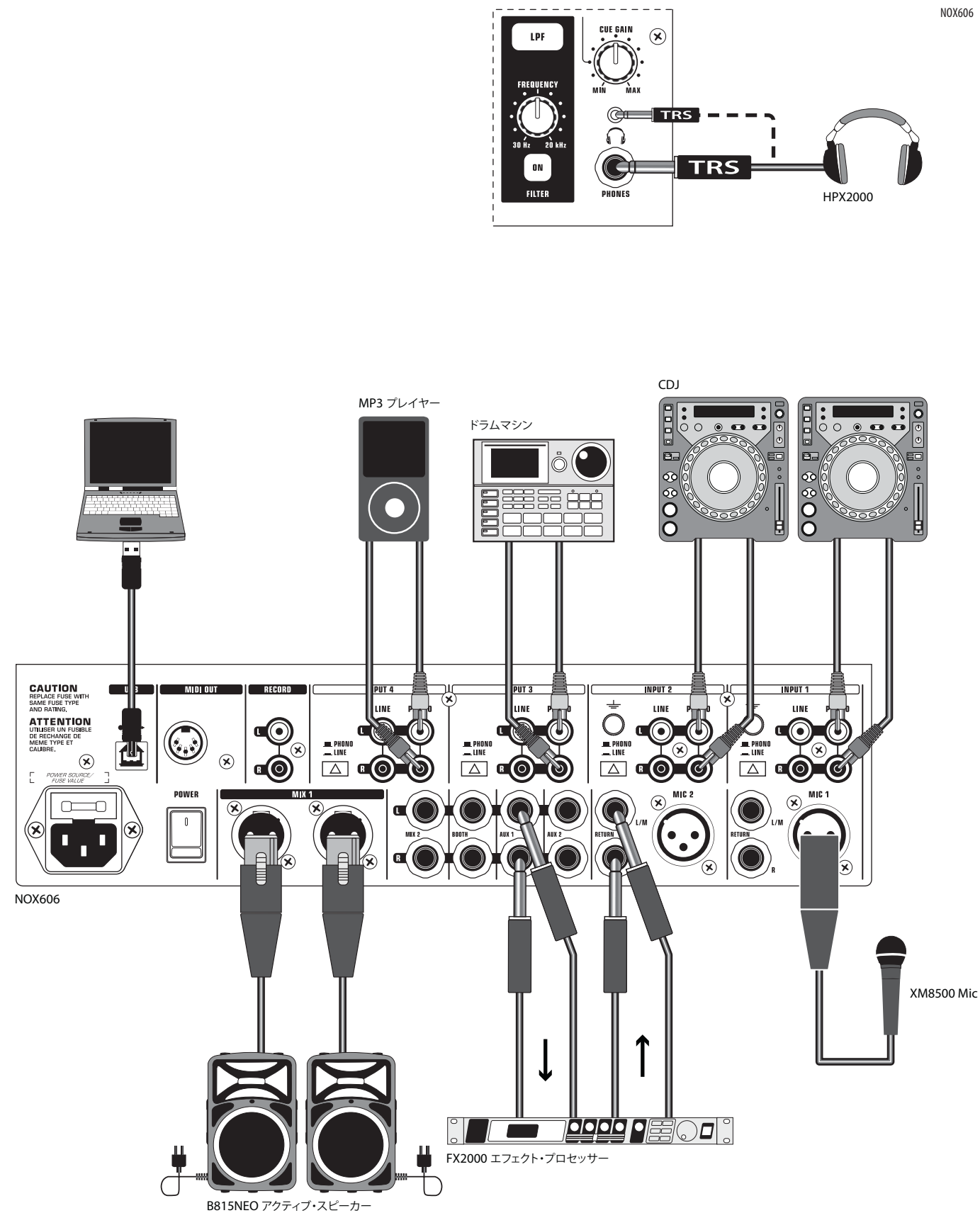
PRO MIXER NOX1010/NOX606/NOX404/NOX303/NOX202 フックアップ

JP

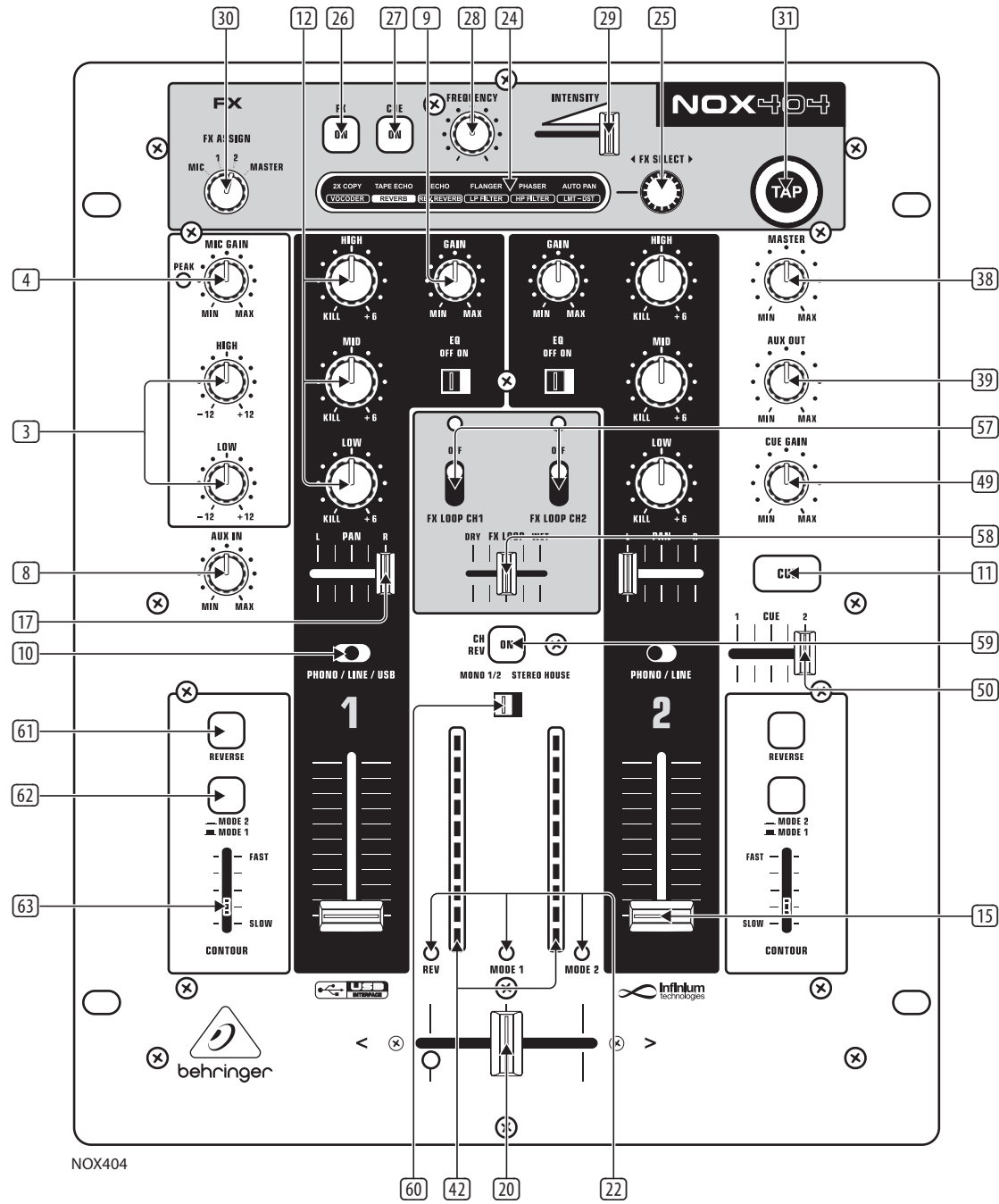
ステップ 1: フックアップ



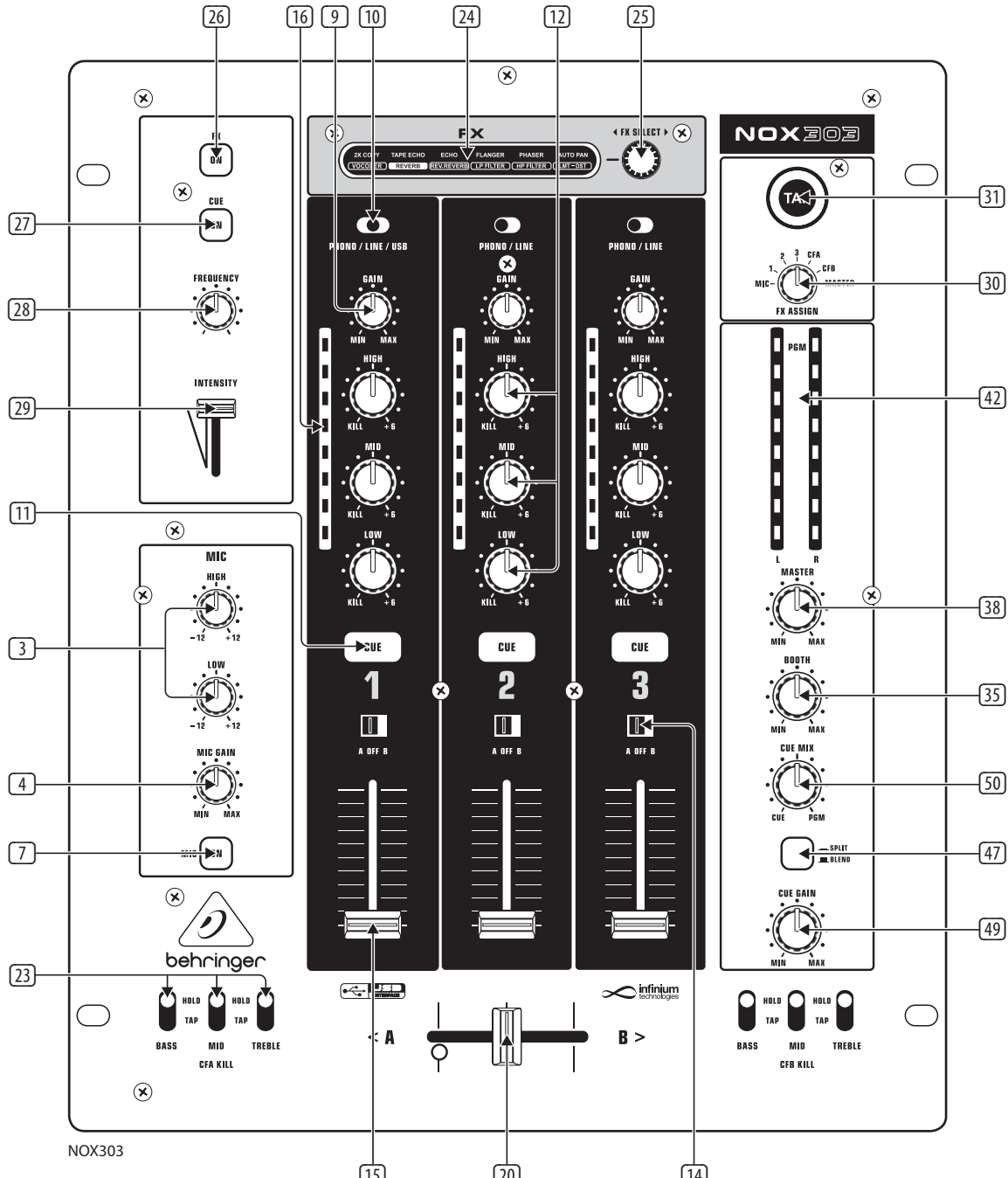
PRO MIXER NOX1010/NOX606/NOX404/NOX303/NOX2 02 フックアップ



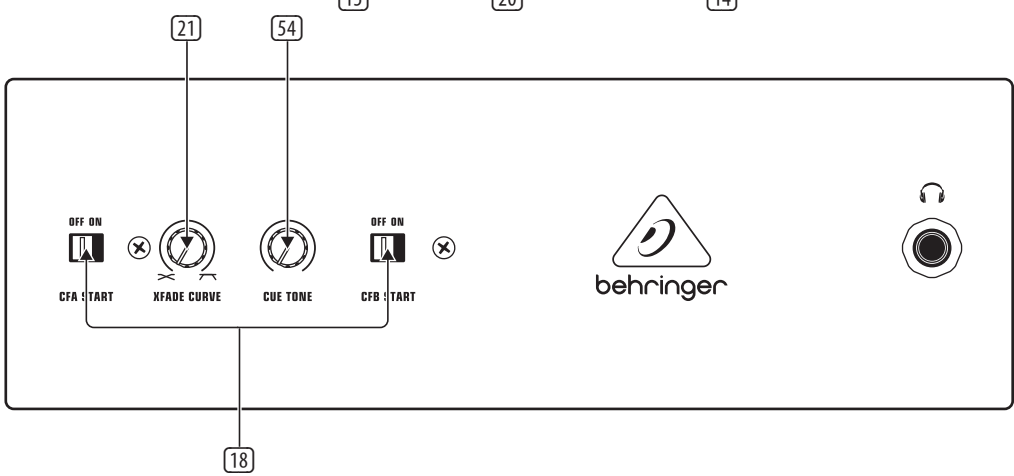
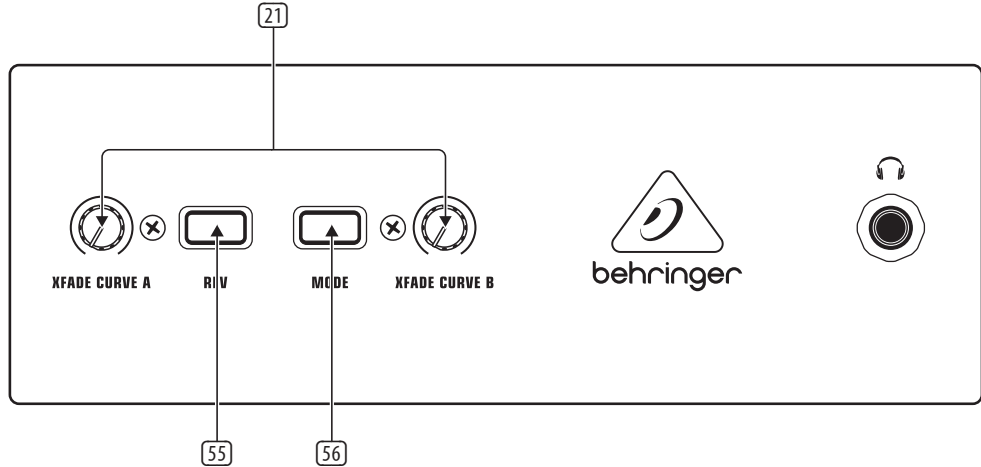
PRO MIXER NOX1010/NOX606/NOX404/NOX303/NOX202 コントロール



NOX404

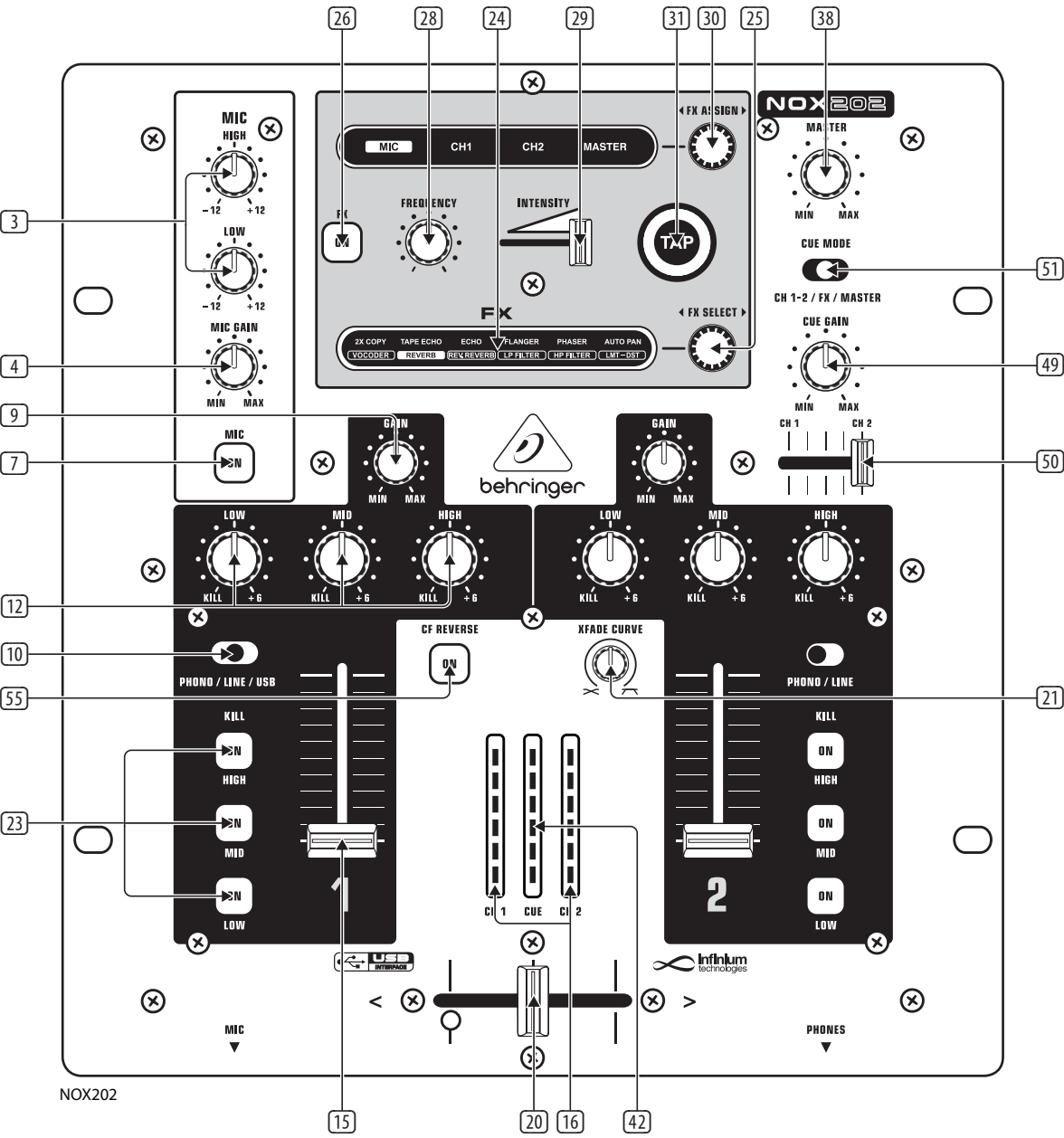


NOX303

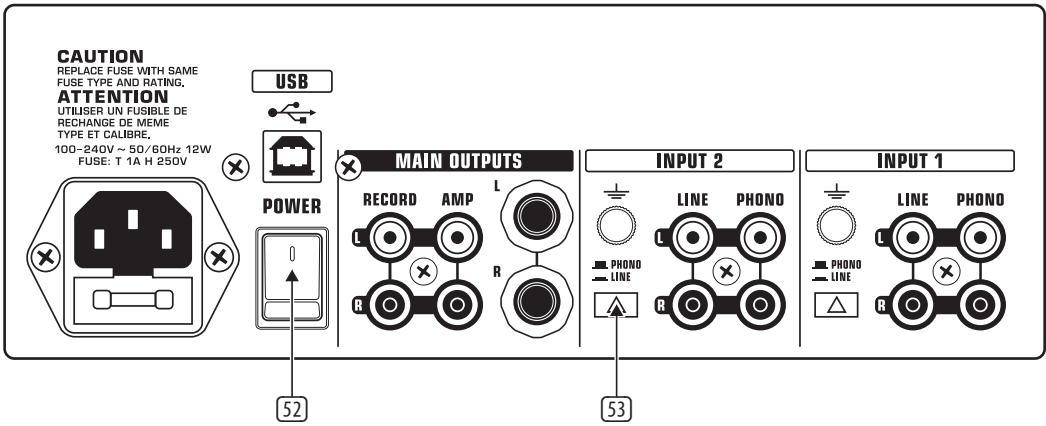


PRO MIXER NOX1010/NOX606/NOX404/NOX303/NOX202 コントロール

JP



NOX202



PRO MIXER NOX1010/NOX606/NOX404/NOX303/NOX202 コントロール

ステップ 2: コントロール

Mic チャンネル

- ① AUX 1/2 ノブで、AUX SEND 1 および 2 ジャックの、チャンネル信号を調節します。PRE ボタンを押すと、チャンネル信号が AUX SEND ジャック・プリフェーダーに送られます。
- ② MIC/RTN スイッチで、XLR MIC インプットまたは ステレオ ¼ インチ RETURN ジャックのいずれかを、チャンネルのソースとして選択します。
- ③ MICEQ ノブで、イコライゼーションを選択します。NOX606 では、MID 1 ノブでミッドレンジの高域寄り周波数を、MID 2 ノブでミッドレンジの低域寄り周波数を調節します。
- ④ MIC GAIN ノブで、マイク・インプットの感度をコントロールします。NOX1010 では、ノブはボリュームコントロールの役割をします。
- ⑤ TALKOVER で、マイクが使用される際に音楽の音量を自動的に下げ、音楽がプレイされている間もオペレーターの声が聞こえるようにします。NOX606 では、スイッチを上側にすることでトークオーバー機能が可能になり、下側にするとマイクチャンネルがオンになっているても、音楽の音量に干渉しません。
- ⑥ ON/PEAK LED がグリーンの場合は、チャンネルがアクティブになっており、赤の LED が点灯する場合はオーディオがオーバードロードしています。
- ⑦ MIC ON ボタンを押すと、マイク・チャンネルがオンになります。
- ⑧ AUX IN ノブで、AUX IN ジャックに接続したオーディオのレベルを調節します。

Stereo チャンネル

- ⑨ GAIN ノブで、チャンネル・インプットの感度を調節します。
- ⑩ INPUT SELECT スイッチで、チャンネルのオーディオ・ソースを選択します。
- ⑪ CUE ボタンを使うと、マスター・アウトプットに出力せずに、ソースをモニターできます。
- ⑫ チャンネル EQ ノブは、HIGH、MID、LOW の各周波帯を、+6 または -∞ dB の範囲でブーストまたはカットします。NOX404 では、ノブを有効にするために EQ ON/OFF スイッチを押します。
- ⑬ FILTER スイッチで、チャンネルを FILTER 1 または 2 に送ります。フィルターをバイパスするには、スイッチの位置を中央のままにしてください。

- ⑭ XFADE (A OFF B) スイッチで、チャンネルをクロスフェーダーの任意のサイドに送ります。中央の「OFF」にすると、フェーダーの上がっているチャンネルは、クロスフェーダーをバイパスし、メイン・ミックスで聴こえるようになります。
- ⑮ チャンネル・フェーダーは、全体のミックスで、チャンネルのボリュームの調節をおこないます。
- ⑯ CHANNEL VU メーターは、入力ソースのレベルを表示します。
- ⑰ PAN フェーダーで、チャンネルの左右バランスを調節します。

クロスフェーダー セクション

- ⑱ FADER START スイッチを押すと、フェーダー・スタート機能がオンになり、ミキサーから start/cue 信号を、オートスタート CD プレイヤーに送ることができます。
- ⑲ CF ASSIGN ノブで、チャンネルをクロスフェーダーのどちらのサイドに割りあてるかを決定します。
- ⑳ CROSSFADER で、各サイドに割りあてられたソースをフェードします。
- ㉑ XFADE CURVE ノブで、ソース A とソース B の間をフェードする際の、カーブの緩急を決定します。
- ㉒ REV/MODE LED で、REVERSE および MODE 1/2 ボタンの状態を表示します。
- ㉓ KILL スイッチ / ボタンで、クロスフェーダーの A サイドまたは B サイドの、HIGH、MID、LOW の各周波数帯を除去します。NOX303 では、スイッチを上側にするとエフェクトがロックされ、スイッチを手動で下側に下げると、選択した周波数帯をその間だけ除去します。

FX セクション

- ㉔ FX ディスプレイには現在のエフェクトが表示されます。新たなエフェクトが選択された際には、ディスプレイが点滅し、FX SELECT ボタンを押して確認するまで点灯した状態が続きます。
- ㉕ FX SELECT ノブで使用可能なエフェクトをスクロールします。ノブを押すと、エフェクトを決定します。
- ㉖ FX ON ボタンでエフェクト・プロセッサを起動します。
- ㉗ FX CUE ボタンを押すと、ミックスにエフェクトをかける前に、CUE セクションにエフェクトを送り、プレビューすることができます。
- ㉘ FREQUENCY ノブで、選択したエフェクトの、周波数ベースまたはタイムベース・パラメーターを調節します。
- ㉙ INTENSITY フェーダーで、選択したエフェクトのミックスまたはレゾナンス・パラメーターを調節します。
- ㉚ FX ASSIGN ノブで、エフェクトをかけるソースを決定します。
- ㉛ TAP ボタンを使うと、リズムに合わせてタップすることで、エフェクトのテンポ・パラメーターを、手動で入力できます。TAP ボタンを 2 秒間押すと、ボタンのライトが点灯したままの状態になり、FREQUENCY ノブでのエフェクト・テンポのコントロールが可能になります。

- ㉜ DATA/MIDI ノブで、MIDI クロック・スピードなどの、データを調節します。
- ㉝ MIDI ON ボタンで、外部シーケンサーへ MIDI スタート / ストップ・データを送ります。

Master セクション

- ㉞ BALANCE ノブで、RCA MAIN アウトプットおよびバランス・アウトプットの左右のバランスを調節します。
- ㉟ BOOTH ノブで、バックパネルの RCA BOOTH アウトプットのレベルをコントロールします。
- ㊱ MONO ボタンで、BOOTH 信号のステレオ / モノを切り替えます。
- ㊲ MUTE ボタンで、BOOTH アウトプットをミュートします。
- ㊳ MASTER フェーダー / ノブで、RCA MAIN アウトプットおよび B バランス・アウトプットをコントロールします。
- ㊴ AUX OUT ノブで、AUX OUT ジャックのアウトプットを調節します。AUX OUT ジャックからは、MAIN アウトプットと同一の信号が出力されます。
- ㊵ MIX 1 ノブで、リアパネルの MIX 1 XLR アウトプットの調節をします。
- ㊶ MIX 2 ノブで、リアパネルの MIX 2 ¼" ジャック・アウトプットの調節をします。
- ㊷ MASTER VU メーターは、マスター・アウトプットおよび / または CUE の信号レベルが表示されます。
- ㊸ MASTER/CUE ボタンで、MASTER VU メーターに、マスター・アウトプットと CUE 信号のどちらを表示するかを決定します。
- ㊹ CUE ACTIVE LED は、チャンネルの CUE ボタンがアクティブになっている際に点灯します。
- ㊺ POST EQ ボタンで CUE のプリ EQ (上側) またはポスト EQ (下側) を選択します。
- ㊻ STEREO/MONO ボタンで、マスター・アウトプットの信号をステレオ / モノのいずれで出力するか決定します。
- ㊼ SPLIT/BLEND (CUE) ボタンで、CUE 信号をプログラム・ソースと混ぜるか、左 (CUE) と右 (メイン) に割り振るかを決めます。
- ㊽ AUX 1/2 スイッチで、選択した方の AUX RETURN 信号を CUE ミックスに送ります。
- ㊾ CUE GAIN ノブで、CUE 信号のボリュームおよび感度を調節します。
- ㊿ CUE MIX ノブ / フェーダーで、CUE 信号とプログラム信号を徐々にブレンドすることができます。NOX404 および NOX202 では、チャンネル 1 と 2 をブレンドします。

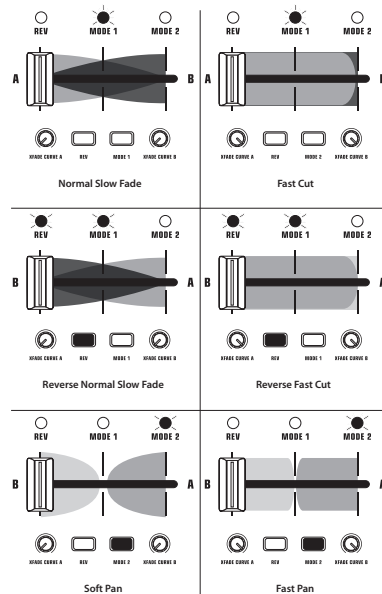
- ① CUE MODE スイッチで、チャンネル 1 および 2、FX セクション、または Master 信号を、CUE / ヘッドフォン・ミックスのどちらで聞こえるようにするか選択します。

リアパネル

- ⑤2 POWER スイッチで、電源ユニットのオン / オフをします。
- ⑤3 LINE/PHONO ボタンで、PHONO ジャックをターンテーブルまたは CD プレイヤーでの使用に最適化します。

フロントパネル

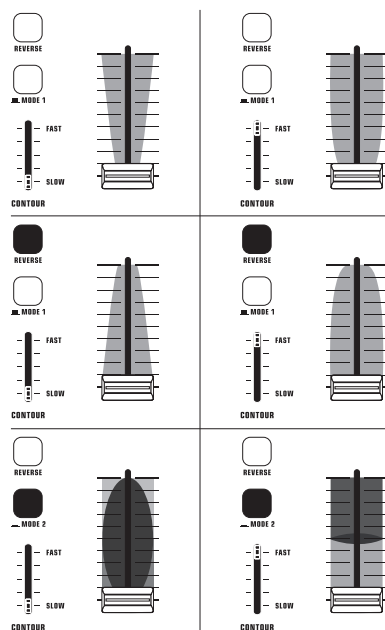
- ⑤4 CUE TONE ノブで、CUE / ヘッドフォン信号のトーンを調節します。
- ⑤5 REV ボタンで、現在フェーダーの両サイドに割り当てられている信号を切り替えます。
- ⑤6 MODE ボタンで、XFADE CURVE A と B のいずれをアクティブにするかを決定します。



FX LOOP/CONTOUR セクション (NOX404)

- ⑥7 FX LOOP CH 1/2 スイッチを押すと、チャンネルを FX LOOP SEND ジャックに送ります。
- ⑥8 FX LOOP MIX フェーダーで、メイン・ミックスにおける FX LOOP リターン信号の量を調節します。
- ⑥9 CH REV ボタンを使うと、チャンネル・フェーダーでプログラム 1 および プログラム 2 をコントロールできるようになります。
- ⑦0 MONO 1/2 STEREO HOUSE スイッチを使うと、VU メーターでチャンネル 1 および 2 を別々に表示、または全体のステレオ・ミックスを表示します。
- ⑦1 REVERSE ボタンを押すと、チャンネル・フェーダーの機能を変更します。すなわちトップにするとオフになり、ボトムにするとフルボリュームになります。
- ⑦2 MODE 1/2 ボタンは、チャンネル・フェーダーをボリュームコントロールとして使用するか (MODE 1)、PAN コントロール (MODE 2) として使用するかを選択します。

- ⑦3 CONTOUR フェーダーでは、MODE 1/2 の選択に従って、チャンネル・フェーダー・ボリュームのスローまたはパンのスローを調節します。



Filter セクション (NOX606)

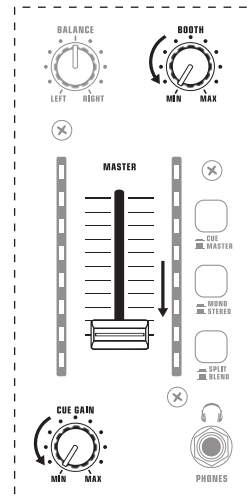
- ⑦4 LFO DEPTH ノブで、フィルターにかかるLFO (ローフリークエンシー・オシレーター) のモジュレーションの量を調節します。
- ⑦5 LFO ON ボタンを押すと、LFO がオンになります。
- ⑦6 X2 TEMPO ボタンを押すと、LFO のスピードが倍になります。
- ⑦7 TAP ボタンを押すと、音楽のリズムに合わせてタッピングすることで、手動で LFO のスピードを入力できるようになります。
- ⑦8 RESONANCE ノブでは、フィルターのシャープネスを決定します。'MILD' 側ではスムーズなレスポンスを、'WILD' 側にするにつれて、レゾナンスのフィードバックがブーストします。
- ⑦9 VCF LINK 2-1 で、FILTER 1 で FILTER 2 をコントロール可能になり、両方のフィルターを同時に調節できます。HPF、BPF および LPF ボタンは、各フィルターで独立した機能を保ちます。
- ⑦0 VCF TO XFADE ボタンを押すと、フィルターの FREQUENCY 機能をクロスフェーダーでコントロールできるようになります。
- ⑦1 HPF ボタンを押すと、ハイパスフィルターがオンになり、FREQUENCY ノブの設定よりも高い周波数だけが聞こえるようになります。
- ⑦2 BPF ボタンを押すと、バンドパスフィルターがオンになり、FREQUENCY ノブで設定した特定の帯域だけが聞こえるようになります。

PRO MIXER NOX1010/NOX606/NOX404/NOX303/NOX202 はじめに

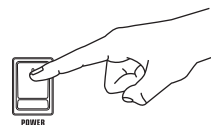
ステップ 3: はじめに

1 電源、オーディオ、USB 等の必要な全ての接続を行います。全ての機器の電源はまだオフにしておいてください!

2 MASTER フェーダー / ノブ、BOOTH および CUE GAIN コントロールを、最小まで下げておいてください。



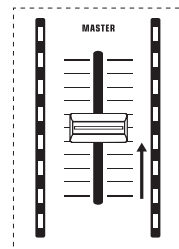
3 POWER スイッチを入れます。



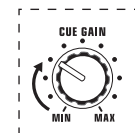
4 その他の機器の電源も入れます。

5 オーディオ・ソースの再生を開始します。

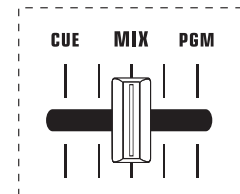
6 MASTER フェーダー / ノブをまず半分からいまで上げます。各チャンネルのレベルを決めながら、調節します。



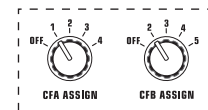
7 CUE GAIN ノブを、まずは 1/3 程度まで上げます。チャンネル・レベルの設定をしながら、望ましいレベルに調節していきます。



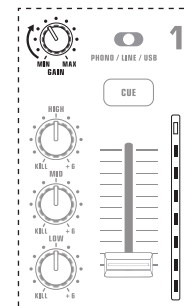
8 CUE MIX フェーダーを中央にします。ヘッドフォンを装着したことをご確認ください。



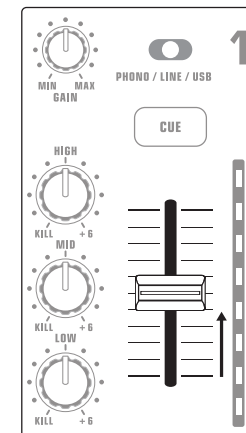
9 クロスフェーダーの各サイドに、CF ASSIGN ノブ (NOX1010) または XFADE (A OFF B) スイッチ (NOX303、606) を使用して、各チャンネルを割り当てます。クロスフェーダーを、聴きたいソースの方へスライドします。



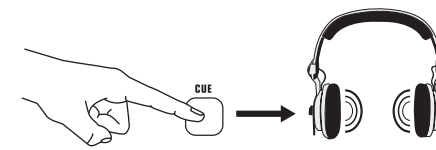
10 チャンネルの GAIN ノブを時計回りに、チャンネル VU メーターの黄色の LED が点灯するまで回します。



11 各チャンネルフェーダーを任意のレベルまで上げます。



12 各チャンネルを、メインミックスに加える前にプレビューするには、そのチャンネルの PFL ボタンを押します。NOX 202 および 404 では、チャンネル 1 および 2 の CUE を入れ、CUE MIX フェーダーを使用して、いずれのチャンネルをプレビューするか選択します。



13 クロスフェーダーを使用して、A サイドと B サイド (またはチャンネル 1 と 2) の間をフェードします。

JP技術仕様

NOX1010		NOX606		NOX404		NOX303		NOX202	
オーディオ・インプット									
Mic in	40 dB ゲイン、XLR、電子バランス	40 dB ゲイン、XLR、電子バランス	40 dB ゲイン、TRS、電子バランス	40 dB ゲイン、XLR、電子バランス	40 dB ゲイン、TRS、電子バランス				
Phono in	40 dB ゲイン、RCA、アンバランス								
Line in	0 dB ゲイン、RCA、アンバランス								
Return	—	0 dB ゲイン、¼" TRS、アンバランス	6 dB ゲイン、¼" TRS、バランス	—	—				
Aux/CD in	0 dB ゲイン、RCA、アンバランス	—	0 dB ゲイン、RCA、アンバランス	—	—				
オーディオ・アウトプット									
Main out (A)	21 dBu 最大、XLR、バランス	21 dBu 最大、XLR、バランス	21 dBu 最大、XLR、バランス	21 dBu 最大、XLR、アンバランス	21 dBu 最大、TRS、バランス				
Main out B	21 dBu 最大、RCA、アンバランス	21 dBu 最大、¼" TRS、バランス	21 dBu 最大、RCA、アンバランス	—	—				
Booth/Amp	21 dBu 最大、RCA、アンバランス	21 dBu 最大、¼" TRS、バランス	—	21 dBu 最大、RCA、アンバランス	21 dBu 最大、RCA、アンバランス				
Record out	21 dBu 最大、RCA、アンバランス	21 dBu 最大、RCA、アンバランス	—	21 dBu 最大、RCA、アンバランス	21 dBu 最大、RCA、アンバランス				
FX/Aux send	—	21 dBu 最大、¼" TRS、バランス	0 dBu (dry)、¼" TRS、バランス	—	—				
Phone out	最大 400 mW (1 kHz, 75 Ω)								
クロスフェーダー									
タイプ	インフィニアム オプティカル クロスフェーダー								
イコライザー									
Stereo low	+6 / -31 dB @ 50 Hz	+6 / -28 dB @ 50 Hz	+6 / -31 dB @ 50 Hz	+6 / -31 dB @ 50 Hz	+6 / -31 dB @ 50 Hz				
Stereo mid (1)	+6 / -20 dB @ 1.2 kHz	+6 / -30 dB @ 320 Hz	+6 / -20 dB @ 1.2 kHz	+6 / -20 dB @ 1.2 kHz	+6 / -20 dB @ 1.2 kHz				
Stereo mid 2	—	+6 / -30 dB @ 1.8 kHz	—	—	—				
Stereo high	+6 / -20 dB @ 10 kHz	+6 / -28 dB @ 10 kHz	+6 / -20 dB @ 10 kHz	+6 / -20 dB @ 10 kHz	+6 / -20 dB @ 10 kHz				
Mic low	±12 dB @ 50 Hz	±15 dB @ 50 Hz	±12 dB @ 50 Hz	±12 dB @ 50 Hz	±12 dB @ 50 Hz				
Mic mid (1)	—	±15 dB @ 250 Hz	—	—	—				
Mic mid 2	—	±15 dB @ 2.5 kHz	—	—	—				
Mic high	±12 dB @ 12 kHz	±15 dB @ 12 kHz	±12 dB @ 12 kHz	±12 dB @ 12 kHz	±12 dB @ 12 kHz				
Kill low	—	—	—	-31 dB @ 50 Hz	-31 dB @ 50 Hz				
Kill mid	—	—	—	-20 dB @ 1.2 kHz	-20 dB @ 1.2 kHz				
Kill high	—	—	—	-20 dB @ 10 kHz	-20 dB @ 10 kHz				
USB									
オーディオ	ステレオ・イン / アウト								
コネクタ	タイプ B								
コンバーター	16 ビット								
サンプルレート	44.1 / 48 kHz								
デジタル・エフェクト・プロセッサー									
DSP	24 ビット フリースケール								
A/D - D/A コンバーター	24 ビット デルタ-シグマ								
システム仕様									
シグナル・トゥ・ノイズ レイシオ	>88 dB	>88 dB	>84 dB	>84 dB	>88 dB				
クロストーク	>80 dB	>70 dB	>70 dB	>84 dB	>84 dB				
歪み (THD)	<0.04% @ 1 kHz	<0.05% @ 1 kHz	<0.05% @ 1 kHz	<0.04% @ 1 kHz	<0.04% @ 1 kHz				
周波数レスポンス	10 Hz - 80 kHz (+0/-3 dB)	10 Hz - 60 kHz (+0/-3 dB)	10 Hz - 70 kHz (+0/-3 dB)	10 Hz - 80 kHz (+0/-3 dB)	10 Hz - 80 kHz (+0/-3 dB)				
インプット・ゲイン アジャストメント	46 dB	±12 dB	44 dB	46 dB	46 dB				
電力供給									
主電源	100-240 V~, 50/60 Hz								
電力消費	最大 20 W	最大 27 W	最大 14 W	最大 18 W	最大 12 W				
ヒューズ	T 1A H 250 V								
電源接続	標準 IEC レセプタクル								
サイズ / 重量									
サイズ (H x W x D)	108 x 483 x 191 mm	108 x 480 x 381 mm	108 x 255 x 320 mm	108 x 292 x 355 mm	100 x 255 x 274 mm				
重量	3.1 kg	5.4 kg	2.6 kg	3.2 kg	2.2 kg				

その他の重要な情報

JPその他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
2. 故障: MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You